

# アジア各国の対日リーダー分析 (インド・シンガポール・ベトナム)

2014.7.25 第56回アカシア会資料  
制作：衆議院議員 荒井聰事務所

# 日本と関係のあるインドのリーダー

## 影響力



ナレンドラ・モディ首相 (BJP)

- ・1950年生まれ(64歳)
- ・2001年よりグジャラート州政府首相を務めた。
- ・メディア戦略に長け、IT技術に最も精通する政治家と言われる。
- ・経済成長路線重視で、グジャラート州で経済成長の加速に成功。
- ・熱心なヒन्दゥ教徒であり反イスラム色を指摘する声もあるが、極めて清廉潔白な政治家と言われる。
- ・親日家として知られ、2007年、12年に来日。
- ・日本の経済界とも関係が深く、日系企業の投資誘致にも成功。

ニティン・ガドガリ道路交通大臣



- ・1956年生まれ(58歳)
- ・若い時代より学生活動家として政治に関与。
- ・BJP党元総裁
- ・ラージナート・シン(内務相)、ジェートリー(財務相兼国防相)と共に、非公式な組閣・党人事の重要案件の核となり当たる。

## 信頼

アルン・ジャイトリー財務大臣兼国防大臣



- ・1952年生まれ(62歳)
- ・弁護士
- ・ラージナート・シン(内務相)とN.J.ガドカリー(運輸、高速道、海運相)と共に、組閣・党人事の重要案件の非公式な核となり当たる。
- ・モディ首相の信頼が最も厚い重要閣僚。

スシュマ・スワラージ外務大臣



- ・1952年生まれ(62歳)
- ・BJPの女性政治家のリーダー。インドの代表的な女性リーダー。
- ・天皇誕生日レセプションには副大統領と共に日本大使館公邸を訪れる等、親日家として知られる。
- ・外務省は次官にも女性(スジャータン・シン氏)を起用し着目される。

ラージ・ナート・シン内務大臣



- ・1951年生まれ(63歳)
- ・学生時代はRSS(民族義勇団)で活動。
- ・1974年より政界入り。
- ・BJP党前総裁。
- ・ジャイトリー(財務相兼国防相)とN.J.ガドカリー(運輸、高速道、海運相)と共に、組閣・党人事案件重要案件の非公式な核となり当たる。

M ヴァンカイア・ナイドゥ都市開発大臣



- ・1949年生まれ(65歳)
- ・1998年より上院議員
- ・学生時代は大衆の福祉に強い関心。
- ・田舎や農業経営者等、基本的人権や自由を訴える演説で人気を誇る。
- ・スローガン「Back to Village」を掲げ、地方支部を創設するなど地方都市開発に尽力。

サダナンダ・ゴウダ鉄道大臣



- ・1953年生まれ(61歳)
- ・学生時代はABVP(全インド学生協会)支部長。
- ・SCDCC銀行(農業部門投資銀行)マンガロール副社長。
- ・2004年より下院(3期)

※印の3閣僚はいずれも同世代の党首経験者、モディ首相との距離感も同程度

経済

外交  
安全保障

# 日本と関係のあるシンガポールのリーダー

## 影響力

### ターマン・シャンムガラトナム 副首相兼財務大臣



- ・1957年生まれ(57歳)
- ・中央銀行である金融監督庁(MAS)エコノミスト。
- ・MAS専務理事。
- ・2001年国会議員。
- ・教育相、第二財務相を歴任。
- ・2007年より現職。

### コー・ブンワン国家開発大臣



- ・1952年生まれ(61歳)
- ・1978年保険省入省。
- ・1995年貿易産業省事務次官
- ・2001年国会議員初当選。
- ・2011年5月より現職。日本好きでプライベート訪日も多数。
- ・インフラ関係担当相  
国土が狭いため日本の地下街開発に関心大、視察も。

### ヘン・スイキエツ教育大臣



- ・1961年生まれ(53歳)
- ・MASの前専務理事。
- ・リー・クアンユー首相首席秘書官。
- ・通産省事務次官。
- ・2011年国会議員に初当選。
- ・「第4世代」政治家の最年長で、今後内閣の中枢を担うとみられる。

### リー・シェンロン首相



- ・1952年生まれ(62歳)
- ・建国の父であるリー・クアンユー元首相の長男。
- ・1990年から14年間続いたゴー・チョクトン前首相政権において、一貫して副首相を務める。貿易産業相、国防相、財務相を歴任。
- ・2004年8月より現職。
- ・2011年5月の総選挙後に「第3世代」の内閣を発足。「第4世代」から閣僚を起用するなど世代交代に着手。
- ・訪日歴多数。2007年3月天皇皇后両陛下との御昼餐。

### グレース・フー首相府大臣 (第二外務大臣兼第二環境・水資源大臣)



- ・1964年生まれ(50歳)
- ・PSAインターナショナル社(東南アジア & 日本)CEO
- ・2006年5月議会選挙で初当選。
- ・昨年訪日し岸田外務相を表敬訪問。
- ・親日家。
- ・第一外相はインド系、第二外相は中華系でアジア担当。

### タン・チュアンジン人材開発大臣



- ・1969年生まれ(45歳)
- ・シンガポール軍で24年間務め陸軍訓練教義司令官を最後に退役。
- ・2011年国会議員に初当選。
- ・「第4世代」政治家の有望株。

### テオ・チーヒン副首相 兼国家安全保障担当調整大臣兼内務大臣



- ・1954年生まれ(60歳)
- ・海軍司令官(海軍少将)
- ・1992年国会議員
- ・国務相、環境相、教育相、国防相を歴任
- ・2009年来日、岡田元外務大臣と会談。

### K・シャンムガム外務兼法務大臣



- ・1959年生まれ(55歳)
- ・弁護士
- ・1988年国会議員初当選したベテラン政治家。
- ・1998年最年少38歳の若さで最高裁判所の首席弁護士に就任。
- ・シンガポールで最も著名な法廷弁護士のひとり。

### ローレンス・ウォン文化・地域・青年大臣



- ・1972年生まれ(42歳)
- ・通産省研究・企画課長、財務省予算局部長を歴任後、エネルギー市場庁(EMA)長官。
- ・リー・シェンロン首相首席秘書官の経験を持つ。
- ・2011年国会議員に初当選。
- ・1回生議員だが現職に抜擢。
- ・地元政界通では「5人の次期首相候補」の一人と目される。

## 今後注目の若手

経済

外交  
安全保障

# 日本と関係のあるベトナムのリーダー

## トップ4

## 影響力

### 序列1位 グエン・フー・チョン党書記長



- ・1944年生まれ(70) ・1967年共産党入党。
- ・ソ連で博士号(政治学)取得
- ・1997年党政治局員
- ・国会議員を歴任後、2011年より現職。
- (サンとズンが対立、消去法で書記長就任とも)
- ・反汚職対策には非常に力を発揮一党の求心力を保つ側面

### 序列3位

### グエン・タン・ズン首相



- ・1949年生まれ(65)
- ・1996年史上最年少で党政治局員。翌97年から副首相。
- ・警察や軍の経験に加え地方政界の要職を歴任後、中央銀行総裁等を経験。国政全般に通じる能力が高く評価される。
- ・非効率な国営企業の改革を陣頭指揮。
- ・1997年国会議員(3期)
- ・2006年史上最年少(57歳)で首相に就任。

## ライバル関係

### 序列2位 チュオン・タン・サン国家主席



- ・1951年生まれ(62)
- ・1996年史上最年少で党政治局員(ズン首相と同時)
- ・No.3のグエン・タン・ズン首相と長年ライバル関係にある。
- ・日本の政財界に古くから知己も多く、知日派としても知られる。
- ・2014年3月に国賓として来日。
- ・国家元首であり、戦争の最高司令官ポスト ・閣僚の任免など

### 序列4位

### グエン・シン・フン国会議長



- ・1946年生まれ(68)
- ・1972年財務省に入省
- ・国庫局局长、財務省次官
- ・1996年党中央委員会に選任される。
- ・2011年から現職
- ・2013年憲法改正(20年ぶり)、初の「人権」規定

## 信頼

### ヴー・ドゥック・ダム政府官房長官



- ・1963年生まれ(51)
- ・郵政・電気通信省
- ・首相書記長、首相補佐官等の要職を歴任後次官。
- ・史上最年少閣僚、将来を有望視される。
- ・グエン・タン・ズン首相の信頼が厚く、政府運営の実務を取り仕切る現職に抜擢された。
- ・2014年5月来日

### チャン・ダイ・クワン公安大臣



- ・1956年生まれ(64)
- ・人民警察学院卒、北京外国語学院留学(中国)、ハノイ法科大学卒
- ・内務省(現公安省)で要職を歴任、公安省次官。
- ・2011年第13期より国会議員(1期)
- ・2011年成立の現政治局では最年少の局員(新任)
- ・日ベトナム特別大使の杉良太郎氏と非常に懇意

### フン・クワン・タイン国防大臣



- ・1949年生まれ(60)
- ・ベトナム軍事科学大学卒。
- ・1988年人民軍第321師団長などの要職を歴任。
- ・国防省次官。
- ・2002年国会議員(3期)、2006年より現職

## 国防・公安大臣はハイレベル閣僚

### ディン・ラ・タン運輸大臣



- ・1960年生まれ(54)
- ・国営総合建設企業ソンダー総公社入社。その後社長
- ・2006年ベトロベトナム(PVN:国営ベトナム石油ガス・グループ)会長。
- ・2006年より国会議員(2期)
- ・南北高速鉄道(新幹線)や官民連携(PPP)方式で進める港事業等、日本が後押しする大型インフラ事業を所管。・2010年PVN会長(当時)として2兆円規模の事業を売り込みに訪日。
- ・南北高速鉄道はリーマン後の経済停滞で持続的な支払いが困難との国会議論で現在はベンディング中。

### グエン・バック・ソン情報通信大臣



- ・1953年生まれ(61)
- ・第一陸軍士官学校卒
- ・人民軍政治部門の要職を歴任。
- ・2011年第13期より国会議員(1期)
- ・2009年10月訪日。原子力施設を視察し日越原子力協定に積極的な姿勢を示した。

## 経済

## 外交 安全保障